

## 4-1 那須塩原市水道事業の目指すべき姿

本水道事業ビジョンの策定に当たり、水道課各係の職員から構成されるワーキンググループを平成 27(2015)年 6 月に発足しました。平成 27(2015)年 7 月から平成 28(2016)年 1 月にかけて、複数回のワークショップを開き、那須塩原市水道事業の目指すべき姿について議論を重ねてきました。

ワークショップでは、本市水道事業の現状を今一度見つめ直し、平成 27(2015)年 8 月に実施した市民アンケート結果も踏まえ、本市水道事業が抱える問題点を洗い出し、「安全」、「強靱」及び「持続」の各分類における理想像とその実現のために必要なことを話し合いました。その中では、現場レベルの声で、工事施工者の適正な技術監理が安全でおいしい水の供給には不可欠であるという意見も出ました。

ワークショップを通じて、各分類における理想像を実現した先にある本市水道事業の目指すべき姿について話し合い、「市民に信頼される水道」を目指すべき姿と決めました。この目指すべき姿「市民に信頼される水道」を本水道事業ビジョンのスローガンとして掲げ、スローガンに一步でも近付けるよう様々な課題に真摯に取り組んでいきます。

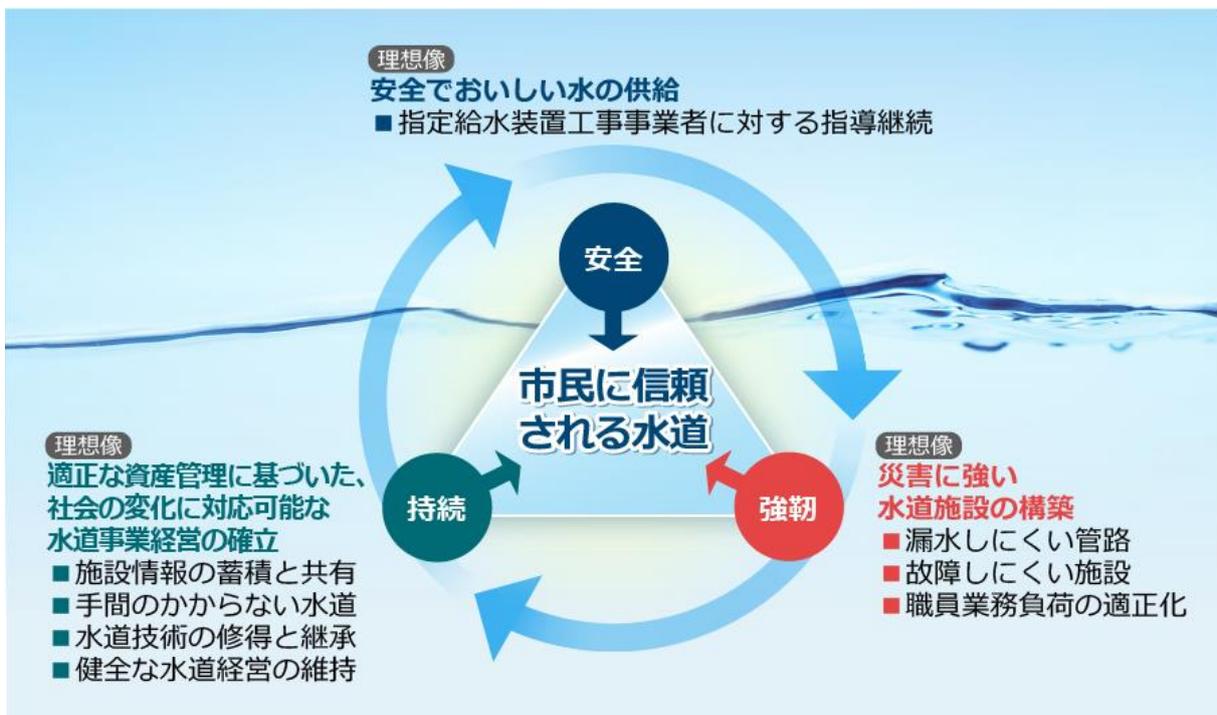


図 4.1 本市水道事業のあるべき姿

## 4-2 施策体系

「市民に信頼される水道」をスローガンに、那須塩原市水道事業の現状と課題を踏まえ、10の基本目標を立て、23の方策を次のとおり決めました。

また、水道事業はSDGs（持続可能な開発目標）が掲げる複数のゴール（目標）に深い関わりを持っていることから、SDGsを意識して施策・事業に取り組みます。

スローガン 市民に信頼される水道				
理想像	課題	基本目標	実現方策	SDGs
安全 安全でおいしい 水の供給	<ul style="list-style-type: none"> <li>適切な浄水処理</li> <li>銅製給水管の更新</li> </ul>	1.安全な水質の維持	(1) 原水水質に適した浄水処理 (2) 水安全計画の策定	3 すべての人に健康と福祉を 
		2.給水装置に対する安全性の確保	(1) 指定給水装置工事事業者に対する指導の継続実施 (2) 銅製給水管の更新	6 安全な水とトイレを世界中に 
強靱 災害に強い 水道施設の構築	<ul style="list-style-type: none"> <li>応急給水・復旧体制の強化</li> <li>侵入防止対策の強化</li> <li>北那須水道の積極的活用</li> <li>水道施設の耐震化</li> <li>管路の計画的更新</li> </ul>	3.緊急時に備えた危機管理体制の再構築	(1) 応急給水・復旧体制の強化 (2) 外部からの水道施設への侵入防止対策強化 (3) 災害時の協力体制の強化	6 安全な水とトイレを世界中に 
		4.水道施設の耐震性の確保	(1) 基幹施設の耐震化 (2) 管路の計画的更新	13 気候変動に具体的な対策を 
持続 適正な資産管理に基づいた、社会の変化に対応可能な水道事業経営の確立	<ul style="list-style-type: none"> <li>積極的な広報活動</li> <li>有収率低下要因の解明</li> <li>業務の効率化</li> <li>技術の継承</li> <li>経営の安定化</li> <li>気候変動への対応</li> </ul>	5.水道施設資産の適正管理	(1) アセットマネジメントの実施 (2) 情報の電子化と共有化	6 安全な水とトイレを世界中に 
		6.施設規模の適正化	(1) 将来の地域ごとの水需要の動向の変化を踏まえた適正な施設規模への再編成	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに 
		7.お客様サービスの向上	(1) 積極的な広報活動 (1) 有収率の向上	9 産業と技術革新の基盤をつくろう 
		8.効率的な事業運営	(2) 水道事業の継続性の確保 (3) 官民連携の推進 (4) 技術の継承	12 つくる責任 つかう責任 
		9.健全な経営	(5) 広域化への取組 (1) 中長期的な財政見直し	13 気候変動に具体的な対策を 
		10.脱炭素社会に向けた取組	(2) 経費削減及び収入の確保 (1) 省エネルギーの推進 (2) 再生可能エネルギーの活用	13 気候変動に具体的な対策を 

図 4.2 施策体系